

## 大国アメリカの原点を探る歴史研究

## 土地供与科学大学の歴史的研究

## 大国アメリカの原点

2026年  
4月14日発行

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)は久保田信之著『土地供与科学大学の歴史的研究 大国アメリカの原点』を2026年4月14日(火)に刊行いたします。

## 理念と制度の原点とは

19世紀半ばのアメリカ、急速に発展する農業や工業には、実践的な知識を持つ人材の育成が急務であった。1862年、連邦議会はモリル法を制定し、各州に連邦所有の土地を与え、その売却益で農業や工学を教える大学を設立することを認めた。こうして生まれた「土地供与科学大学」の歴史と意義を解説する。

## タイトル:土地供与科学大学の歴史的研究 大国アメリカの原点

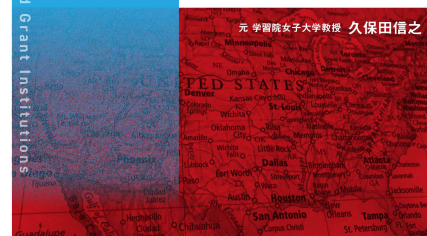
著者:久保田信之

ページ数:444ページ 価格:2,420円(10%税込)

発行日:2026年4月14日 ISBN:978-4-86667-811-5

## 【目次】

- 第1章 序論 植民地時代の特徴
- 第2章 高等教育変革の動き
- 第3章 社会的背景 アメリカ農業の特色
- 第4章 思想的背景 アメリカ人の進歩の理念
- 第5章 公有地の成立と土地政策の変遷
- 第6章 連邦政府・議会の動向 独自の高等教育を求めて
- 第7章 模索の時代(一)制度と形式
- 第8章 模索の時代(二)実情と内容
- 第9章 土地供与科学大学の基礎がため
- 第10章 土地供与科学大学の個別研究
- 第11章 黒人のための土地供与科学大学
- 第12章 土地供与科学大学がはたしたこと

土地供与科学大学の  
歴史的研究  
大国アメリカの原点

大国アメリカ、その繁栄の礎を形づくった  
土地供与科学大学。  
いま、その理念と制度の原点を問い直す。

あさ出版

## 【著者プロフィール】 久保田信之(くぼた・のぶゆき)



1936年(昭和11年)、東京で生まれ、北区にて育つ。現在は世田谷区在住。  
学習院中等科、同高等科を経て、学習院大学政経学部政治学科に入学、卒業後、学習院大学文学部哲学科3年に学士入学、卒業。  
その後、法政大学大学院人文科学研究科哲学専攻、博士課程修了。  
アメリカ・ケンタッキー州レイビル大学、ミズーリ州ワシントン大学、ハワイ大学で学ぶ。  
学習院女子大学教授をはじめ、学習院大学、芝浦工業大学、法政大学、青山学院大学にて教鞭をとり、倫理学、教育史、教育哲学などを担当。  
1988年(昭和63年)、最高裁より東京家庭裁判所調停委員任命。  
2008年(平成20年)、長年の功績を認められ、藍綬褒章を受章。